

若手研究者のためのフロンティア論文特集の発行にあたって



若手研究者のためのフロンティア論文特集編集委員会

委員長 高橋 応明

ますます高度化し発展する通信技術の世界で、日本の技術力を維持・発展させていくためには、学位取得や職場でのスキルアップを目指している若手研究者をバックアップし、永続的に日本の研究活動を維持していくことが重要である。これまで、和文論文誌は日本語での論文執筆が可能であることから、通信技術の研究開発に携わる企業の若手研究者からの多くの論文投稿があり、研究成果の発表の場として一定の成果を上げてきた。

本特集は、これまで以上に和文論文誌Bの場が若手研究者の研究活性化の契機となるよう、特別に企画、実施したものである。特集テーマとして技術分野を絞るのではなく通信技術全般を対象テーマとした。また、論文の筆頭著者を40歳以下の若手研究者・学生に限定することにより、若手研究者が論文執筆する動機を与えるとともに、将来の研究開発活動をより活発化させることが可能となるよう人的基盤の拡充・充実・強化の一助となることを目指している。通信ソサイエティの全分野にわたって多くの論文投稿が予想された

ので、和文論文誌B編集委員全員に本特集の編集委員を務めて頂いた。

本特集に投稿された論文集は、論文25編、レター1編であり、厳正な査読の結果、最終的には論文14編を採録することとなった。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の奥村様に深く感謝申し上げる。この特集企画が今後も継続的に実施されることを期待している。

たかはし ますはる
高橋 応明（正員：シニア会員） 1989東北大学卒、1994東京工業大学大学院博士課程了。同年、武蔵工大助手、1996同大講師、2000東京農工大助教授、2004千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター助教授、2007同准教授、現在に至る。博士（工学）。平面アンテナ、RFID、人体と電磁波の研究に従事。2009本会通信ソサイエティ論文賞優秀論文賞、マガジン論文賞受賞。2011本会和文論文誌B編集委員長。IEEEシニア会員、著書『電磁波工学入門』『RFID用アンテナ技術の基礎と応用設計事例』など。

若手研究者のためのフロンティア論文特集編集委員会

- | | | |
|----------------|-----|-----------------------|
| 委員
幹事
委員 | 委員長 | 高橋 応明 |
| | 幹事 | 佐波 孝彦 |
| | 委員 | 石川 博康・王建青・大島正明・大西輝夫 |
| | | 大川 貢・小川猛志・加藤寧・可児淳一 |
| | | 坂井 栄治・笹森崇行・佐野裕康・塩川茂樹 |
| | | 末田 欣子・瀬戸一郎・高橋徹・寺島美昭 |
| | | 中野 雅之・西森健太郎・濱住啓之・船越裕介 |
| | | 馬杉 正男・宮田英之・森山敏文・柳生智彦 |
| | | 山井 成良・山崎憲一・吉原貴之・和田忠浩 |